

財六甲台後援会だより

(21)

第3回(平成22年度)社会科学特別奨励賞(凌霜賞)の授賞

去る5月28日午後1時半より、改修成った出光佐三記念六甲台講堂において、平成22年度の社会科学特別奨励賞の授賞式が挙行されました。これは、かねてからご紹介しましたように、当会創立50周年記念事業の1つとして1昨年度から始めたもので、今年で3回目です。今回は、新型インフルエンザのため凌霜会の総会・評議員会が学内で開催できなかった昨年とは違い、凌霜会理事・評議員の皆さんのご臨席も得て、初めて華やかに六甲台講堂で式典を持つことができました。

式典は、中野常男常務理事(経営学研究科教授・前神戸大学副学長)の開式の辞のあと、新野幸次郎理事長の挨拶があり、次の27名の学部および大学院生に対して賞状と副賞とが授与されました。

「経済学部」岸岡真美(2年生)、成尾恵一(3年生)、能島綾(4年生)、「経営学部」竹田美樹(2年生)、橋本明彩代(3年生)、上瀧英司(4年生)、「法学部」山田卓弥(2年生)、越智乾仁(3年生)、平野佳奈(4年生)、「経済学研究科博士課程前期課程」中村優太(1年生)、NGUYEN TRUONG GIANG(2年生)、「経営学研究科博士課程前期課程」幡生はるか(1年生)、永岡成人(2年生)、「法学研究科博士課程前期課程」赤星聖(1年生)、「法学研究科専門職学位課程」いわゆる法科大学院「尾島祐太郎(3L)、小宮香



織(3生)、「国際協力研究科博士課程前期課程」西田香寿実(1年生)、正田眞次(2年生)、「経済学研究科博士課程後期課程」福田勝文(3年生)、「経営学研究科博士課程後期課程」中岡孝剛(3年生)、中村絵里(3年生)、瓜生原葉子(3年生)、酒井裕規(3年生)、「法学研究科博士課程後期課程」関智弘(1年生)、佐藤育己(3年生)、「国際協力研究科博士課程後期課程」杉村豪一(2年生)、太田妃樹(3年生)の諸君がそれでありませう。

凌霜賞では、学部および大学院博士課程前期課程学生には、それぞれ副賞として60万円が授与され、大学院博士課程後期課程学生には、研究科ごとにそれぞれ100万円が与えられ、海外での学会発表を主とした派遣旅費として用いられることになっています。ご覧頂くように、研究科によつて受賞院生数が異なるのは、開催学会の場所および期間の違いなどを考慮して各研究科で選考された結果であります。

授賞式では、賞状を新野幸次郎理事長から、副賞を各学部長からお渡しし、その後、受賞者を代表して、次の3学生からそれぞれ受賞の喜びと覚悟についての挨拶を受けました。経営学部3年生・橋本明彩代、経営学研究科博士課程前期課程1年生・幡生はるか、経営学研究科博士課程後期課程2年生・中岡孝剛の諸君で、それぞれ出席しておられる方々の心に残る挨拶でした。なお、今回は前2回と違って、出光佐三大先輩の卒業1000年を記念した出光興産株式会社のご配慮に加えて、わが六甲台後援会の拠金と凌霜会員諸氏のご寄付および神戸大学基金からのご支援で美しく改装成った六甲台

講堂の壇上で挙行でき、それだけ深い想いのこもった式典になったと思います。出光佐三さんに象徴される神戸高等商業学校以来の諸先輩、諸先生方の熱い想いを、受賞された27名の諸君だけでなく、この受賞の対象となる可能性のある全学生諸君が受けとめられ、素晴らしい学生生活と、卒業後の歩みを続けられることを改めてお祈りしたいと思います。

六甲台後援会へのご寄付について

この「凌霜」誌は年4回の季刊になっており、その都度ご報告していますが、平成22年の新会計年度に入ってから、誠にありがたいことにまた皆さんから貴重なご寄付を頂きました。ご送金頂いた順に報告いたしますと、いつもの匿名希望者様(昭35・法)200万円、福嶋正彦様(昭34・経営)200万円、新野幸次郎様(昭24)100万円、大野喜久之輔ゼミOB会様10万円、三宅基治様(昭44・経済)30万円、および凌霜六思会(旧制神戸経大予科6回生)様3万円、渡会武嗣様(昭30・経営)5万円、岸田誠二様(昭35・経営)1万円がそれです。これで、新野理事長が平成16年に呼びかけられてから合計2億106万円余りの巨額になりました。そのお蔭で本会創立50周年記念事業も完遂できておりますが、新しい大学間競争にさらされている母校5部局の発展のために、これからも皆さんの熱い母校愛を捧げて頂けるよう心からお願ひ申し上げます。

事務局として今回とくに感激したことを書き添えさせて頂きますと、前記三宅様は通信欄に「年金生活に入り、最初の年金の1部を母校のために役立てて下さい」と書いて頂いていました。三宅様は

藤井茂先生のゼミ生でいらっしやったようですが、母校思いで神戸商業大学1回生だった故藤井先生もきつと喜んでくださっていることと思ひ、事務局としても本当にありがたく感激いたしました。

なお、これと関連して、去る6月6日(日)に昭和35年卒業のいわゆる「珊瑚会」の卒業50周年の集いが、六甲台本館の皆さんには懐かしい102号教室で挙行され、その時集まられた130名余の皆さんから当会に対して多額のご寄付の目録を頂戴いたしました。

その日は新野理事長が約30分間講演をされ、そのあと実行委員長の江原良一さんから目録の贈呈を受けられました。まだ珊瑚会の会計処理が終了していませんため、金額は確定していませんが、200万円近くになる筈だと知らせて頂いています。ありがたいことで、厚くお礼申し上げます。なお、新野理事長は当日、いわゆる神武景気の始まった時期に入学され、岩戸景気が始まった頃に卒業された珊瑚会の皆さんの今日までのご活躍を多としながら、理事長が親しくしていたある大新聞の副社長が現役を退くに当たって送ってこられた挨拶状にあった佐藤春夫の「秋刀魚の歌」の中にある「国の盛りに人となり国衰えて老となる」という1節が、珊瑚会の皆さんにも同感して貰えるのではないかとということから始めて、いろいろお話をされたように聞いています。珊瑚会の皆さん本当にご苦労さまでした。これからも、何よりも健康にご留意のうえ、その貴重なご体験とご見識を生かしてそれぞれの人生を心豊かにお送りください。六甲台後援会としては、こうしていつまでも師と友を想ひ、母校のために力を貸してくださる凌霄会の皆さんのご配慮を心から期待し

ております。ご寄付手続きは毎号でご案内していますように次の通りであります。どうかよろしくお願い申し上げます。

◎銀行送金の場合(銀行からの連絡が遅く、領収書送付が遅れないようにするため、お葉書でも電話・FAXでも結構ですから、送金のことについて事務局にご一報ください)

銀行名 三井住友銀行六甲支店

口座番号 普通預金口座 4069496

口座名義 (財)神戸大学六甲台後援会

◎郵便振替の場合(通信欄に卒業年次と出身学部をご記入ください)

口座番号 0098019116772

口座名義 (財)神戸大学六甲台後援会

〒657-0068

神戸市灘区篠原北町4-11-5

(財)神戸大学六甲台後援会事務局

電話・FAX(078) 861-3013